

四「ブサーク・チェコスロバキア共産党書記長は二十九日、党青年部大会で演説、その中で道放中のオリンピック選手、エミール・サトベック氏について、同氏が最近、一九六八年のソラハの春、運動（チェコ自由化運動）の成功にこの態度を自己批判した結果を「尊敬する」と語り、同氏の復帰が近いことを示唆した。

サトベック氏は一九四八年のロンドン大会で五千円、五年ヘルシンキ大会では五千円、一万円、マラソンの三種目（種別）人間機関車、とたたきられたが、自由化運動を積極的に支持したとして翌六九年、共産党を除名され、陸軍大佐の地位と体育コーチの職を失った。しかし、同氏は先月、チェコ共産党機関紙「ルヂェ・プラボ」に「共産主義世界を危うくするものは火事の炎に油をそそぐ連中と同じような行動をとった」と自己批判を発表、復帰が取りざたされていた。

原子炉の建設中止を

科学者の環境会議が訴え

【トロントハイム（ウルウェ）二十九日UPI共同】「科学の社会責任を追究する協会」（SFRS）は、世界五カ国から科学者約百人を集め、ノルウェーのトロントハイムで環境会議を開いていたが二十九日すべての科学者は原子炉の建設や放射能の化学廃棄物の投棄にたまたまわらないよう訴え「これは地球上にないところで人類の健康に重大な脅威を及ぼす」としていることと強調した決議を採択した。この会議の決議は来年六月ストックホルムで開かれる国連の環境会議に提出される。

同会議ではベルギー、スウェーデン、英国、オランダなどが実験的に行なっている放射能物質の大量への投棄を強く非難し、六月大西洋のビスケー湾付近に貨車四十両分の放射能物質が捨てられたことを明らかにした。

さらに決議はフランスと中国の核実験を激しく非難し、また米國がアラスカ沖のアムチカ島で定している五〇〇メートルの地下実験を中止するよう求め、この実験で海が汚染され、取り返しがつかない汚染され、取り返しがつかないことを警告している。決議は原子炉の建設を全面的に中止するよう求め、最近の調査によると原子炉が大気や土壌にとって危険な量

の放射能物質を排出することが判明したとし、現在の原子炉危険防止対策は不十分だと指摘している。

同協会は二十一年前に設立され、東西の諸国から多くの科学者が参加している。

ベルリン協定の利点を強調

【ノイウルム（西ドイツ）二十九日UPI共同】西ドイツのブラント首相は十九日、バイエル州のノイウルムで開かれた母党SPD（社会党）の集会で、四ヶ国間のベルリン協定は西ベルリンを共産側に引き渡すものだが一部は批判に反論し「四ヶ国協定は西ベルリンの地位を改善し、西ベルリンにとって不安定な状況に終止符を打ち、分割されたドイツに向きの進展をもたらすもの」と述べた。

同首相はベルリン協定の利点として次の諸点を挙げた。

- 一、西ベルリンと西ドイツの結びつきが認められた結果、世界の緊張を招く問題ではなくなる。
- 一、西ベルリンへの通行が邪魔やいやがらせを免れなくなる。
- 一、西ドイツが西ベルリンを対外的に代表できる。
- 一、西ベルリン市民が再び東ベルリンを含む東ドイツを訪問できるようにになる。

